

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター  
宮崎県健康増進課  
宮崎県衛生環境研究所

## ■ 宮崎県第 43 週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は 602 人（定点あたり 18.7）で、前週とほぼ同じであった。

先週に比べ多かった主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は手足口病と水痘であった。

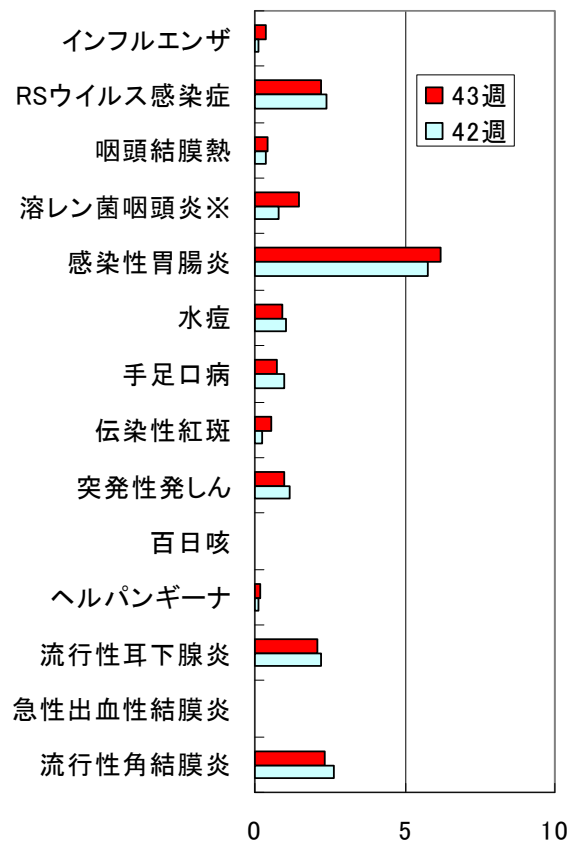
インフルエンザの報告数は 21 人（0.36）で前週比 263% と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（4.4）の約 1 割と少ない。日向（1.7）、日南（1.0）保健所からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 48%、6-9 歳が 28%、20-50 歳が 19%、60 歳以上が 5% を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 52 人（1.4）で前週比 179% と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（1.2）の約 1.2 倍である。延岡・高鍋（各 2.0）、都城・日向（各 1.8）保健所からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 8 歳で全体の約 8 割を占めた。

無菌性髄膜炎 1 人が日南保健所から報告された。患者は 7 歳の女兒。

クラミジア肺炎 1 人が高鍋保健所から報告された。患者は 8 歳の男児で、原因菌は *Chlamydia pneumoniae*。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## ■ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年 齢 分 布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
感染性胃腸炎	20	6.2	中央(20.0)	6ヶ月～5歳で全体の約7割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2.1	延岡(6.3)	1歳～6歳で全体の約8割を占めた。

## ■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 4 例が宮崎市 (2 例)、都城・日南 (各 1 例) 保健所から報告された。  
 《宮崎市保健所》・40 歳代の女性で無症状病原体保有者。  
 ・70 歳代の女性で肺結核及び頸部リンパ節結核。  
 《都城保健所》・70 歳代の男性で肺結核。  
 《日南保健所》・80 歳代の男性で疑似症患者。食欲不振がみられた。
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1 例が都城保健所から報告された。10 歳代の男性で軟便が見られた。原因菌の血清型は 0115 (VT1 産生)。
- 4 類感染症 : レプトスピラ症 1 例が宮崎市保健所から報告された。20 歳代の男性で発熱、筋肉痛、結膜充血、頭痛がみられた。
- 5 類感染症 : 報告なし。

## ■ 病原体情報 (衛生環境研究所 微生物部)

ウイルス (平成 22 年 10 月 25 日～平成 22 年 10 月 31 日までに検体採取分)

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床診断名	材料	同定日
インフルエンザAH3型	5	女	10.25	インフルエンザ、39.2℃、腹痛	鼻ぬ*	10.26
インフルエンザAH3型	7	男	10.25	インフルエンザ、40℃、咳	鼻ぬ*	10.26
インフルエンザAH3型	30	女	10.26	インフルエンザ**、38.8℃、咳、鼻水、関節痛、全身倦怠	鼻ぬ*	11.2
インフルエンザAH3型	2	男	10.27	インフルエンザ、39℃、咳、鼻水	鼻ぬ*	11.2
インフルエンザAH3型	24	女	10.28	インフルエンザ、37℃、咳、鼻水、筋肉痛	鼻ぬ*	11.2
インフルエンザAH3型	3	男	10.29	インフルエンザ、38.5℃、咳、鼻水、咽頭痛	鼻ぬ*	11.2
インフルエンザAH3型	4	男	10.29	インフルエンザ、39.8℃、咳、下痢	鼻ぬ*	11.2
インフルエンザAH3型	2	男	10.29	インフルエンザ、咳	鼻ぬ*	11.2
インフルエンザAH3型	1	男	10.30	インフルエンザ、38℃、咳、鼻水、頭痛、全身倦怠感	咽ぬ*	11.2
インフルエンザAH3型	1	男	10.30	インフルエンザ、37.8℃、咳、鼻水、嘔吐	鼻ぬ*	11.2
インフルエンザAH3型	6	男	10.29	インフルエンザ、39.6℃、咳、筋肉痛、関節痛	咽ぬ*	11.2

鼻ぬ\*:鼻腔ぬぐい 咽ぬ\*:咽頭ぬぐい液

○日南保健所、日向保健所、延岡保健所、高鍋保健所管内でインフルエンザA型の報告があった。日南の2例、日向の5例、延岡の3例、高鍋の1例について遺伝子検査を実施した結果、全例からインフルエンザAH3(A香港型)が検出された。このうち日向の3例と延岡の3例は、同一施設での集団発生であった。

## ■ 全国第 42 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 10.1 で、前週比 114%と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は水痘とヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は 559 人 (0.12) で、前週比 133%と増加したが、例年同時期の約 1 割である。沖縄県 (0.76)、北海道 (0.49)、福井県 (0.28) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 37%、6 歳から 9 歳が 22%、10 歳から 14 歳が 6%、15 歳から 19 歳が 5%、20 歳代から 50 歳代が 26%、60 歳以上が 4%を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 2,806 人 (0.93) で、前週比 131%と増加した。例年同時期の約 9 割である。福井県 (2.3)、山口県 (2.2)、石川県 (1.9) からの報告が多く、年齢別では 4 歳から 7 歳で全体の約半数を占めた。

### □ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 325 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 12 例、腸管出血性大腸菌感染症 62 例
- 4 類感染症 : つつが虫病 3 例、デング熱 3 例、日本紅斑熱 2 例、日本脳炎 1 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 12 例、レプトスピラ症 2 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 13 例、ウイルス性肝炎 3 例、急性脳炎 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 5 例、後天性免疫不全症候群 19 例、ジアルジア症 2 例、梅毒 6 例、破傷風 1 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、風疹 1 例、麻しん 5 例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2010年 第43週(10月25日～10月31日)

疾病名		第42週	第43週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	8	21	1	1	3	5		1		10	
	定点あたり	0.14	0.36	0.06	0.10	0.43	1.00	0.00	0.17	0.00	1.67	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	86	80	17	10	19			7		25	2
	定点あたり	2.39	2.22	1.70	1.67	4.75	0.00	0.00	1.75	0.00	6.25	2.00
咽頭結膜熱	報告数	14	15	1	7	2	5					
	定点あたり	0.39	0.42	0.10	1.17	0.50	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	29	52	9	11	8	5	3	8		7	1
	定点あたり	0.81	1.44	0.90	1.83	2.00	1.67	1.00	2.00	0.00	1.75	1.00
感染性胃腸炎	報告数	207	223	36	27	19	29	31	26	6	29	20
	定点あたり	5.75	6.19	3.60	4.50	4.75	9.67	10.33	6.50	6.00	7.25	20.00
水痘	報告数	37	33	9	11	4			6		2	1
	定点あたり	1.03	0.92	0.90	1.83	1.00	0.00	0.00	1.50	0.00	0.50	1.00
手足口病	報告数	36	26	9	9	1	1		1		3	2
	定点あたり	1.00	0.72	0.90	1.50	0.25	0.33	0.00	0.25	0.00	0.75	2.00
伝染性紅斑	報告数	9	19	1	7	1		2	6		1	1
	定点あたり	0.25	0.53	0.10	1.17	0.25	0.00	0.67	1.50	0.00	0.25	1.00
突発性発しん	報告数	43	35	16	5	4	1		1		7	1
	定点あたり	1.19	0.97	1.60	0.83	1.00	0.33	0.00	0.25	0.00	1.75	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	7	5	1				1			
	定点あたり	0.11	0.19	0.50	0.17	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	80	75	14	2	25	9	2	4	1	18	
	定点あたり	2.22	2.08	1.40	0.33	6.25	3.00	0.67	1.00	1.00	4.50	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	14	12	2							
	定点あたり	2.67	2.33	4.00	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	2	1				1					
	定点あたり	0.29	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2										
	定点あたり	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数	1	1						1			
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2010年第1週～第43週)

2類感染症	結核	179例(4)			
3類感染症	細菌性赤痢	1例	腸管出血性大腸菌感染症	49例(1)	
	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例	つつが虫病 1例
4類感染症	デング熱	1例	日本紅斑熱	5例	マラリア 2例
	レジオネラ症	2例	レプトスピラ症	3例(1)	
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	7例	急性脳炎 6例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	3例	梅毒 5例
	破傷風	5例	麻しん	1例	

( )内は今週届出分、再掲

こども感染症情報

レプトスピラ症に気をつけましょう。(10月25日～10月31日)

レプトスピラ症の発生報告がありました。この病気は病原性レプトスピラという細菌によって引き起こされる感染症です。レプトスピラはネズミやイヌなどの体内(腎臓)に潜んでおり、尿と一緒に排出され、土や川を汚染します。そして、その土や水に接触することにより皮膚の傷や鼻、目及び口の粘膜を通過して感染します。ヒトも動物もかかる病気ですが、ヒトからヒトへ感染することはほとんどありません。

通常、感染から5～14日間の潜伏期のあと突然の頭痛、発熱(38℃以上)、筋肉痛、眼の充血が現れます。重症になると黄疸、腎障害などの症状が出て、死亡することもあります。

皮膚に傷がある場合は、畑や汚れた川に入らないようにしましょう。手足に傷が無い場合でも長時間水に浸しておくと皮膚がふやけてきて、怪我をしやすくなってしまいます。作業を行うときには必ず厚めのゴム手袋や長靴を使用し、畑や川に入った後には手足に傷が出来ていないか確認しましょう。

ペットのイヌから感染することもありますので、ペットとの過剰な接触は避け適切な管理を行い、知らないイヌにはむやみに触らないようにしましょう。